

第二五九回ペン川柳会

令和七年十二月二十二日

お題「黒」

■ 浜田（我々好）

ウイスキー

米寿過ぎ喪服の出番グツと減り
青竜刀鉄の首をば切れるかな？

■ 大森（吞助）

のみすけ

素人（しろうと）が玄人（くろうと）ぶって赤っ恥？
取り調べ白状したぞこいつあクロ！

■ 中村（アキチャン）

思い出す粋な黒髪乱れ髪
公私とも黒子に徹し今日がある

■ 稲宮（井波）

いなみ

白熱の黒の叫びがジャズを生む
黒船か今は遼寧悩ましや

■ 八木（明迷）

めいめい

黒幕は黒い帽子のやつだろか
負け越しはいやとサッポロ飲む力士

■ 塚田（拿々）

だだ

永田町未だ晴れない黒い霧
颯爽と黒髪よぎる銀座裏

■ 安藤（晃二）

てるつぐ

歯が触れて唇と知る真の闇
黒古木桜紅葉の裾模様

■ 西川（醉雅）
すいが

黒髪を思い出しては顔緩め
白よりも黒多かった我が人生

■ 三春（火酒）
ウオツカ

雀チユン消えてTOKYO烏力アー
菜切りより出刃がいいぜとムシヨ帰り

■ 松谷（零門）
れいもん

風呂上がり鏡に映る黒ニカ所
黒インク買って十年まだ活ける

■ 大野（だし）

白も黒ももう考える余裕ない
どうせ俺いつも黒だと売られてた

世話人 塚田 實（拿々）
だだ